

ゆうきのあるアニュー

梶小学校 二年 林 大吉

ぼくがこの本をえらんりゆうは、きょうしつで見つけてひょうしの絵がかわいかったからです。

この本は、タテゴトアザラの赤ちゃんがうまれて、はじめはおかあさんがそだてくれたけど、おかあさんがほっきよくに行つてひとりぼっちになってしまいました。さいしよはないてたけど、じぶんで海にはいつてえさをとって大きくなってほっきよくへむかいました。たのしいことがあつたりこわいことがあつたけど、ほっきよくについた話です。

ぼくが心にのこつたところは二つあります。一つ目は、アニューがうまれておかあさんとはなを近づけてにおいをかいでいる絵がとてもかわいいなと思いました。はじめはりゆうがわからなかったけど、さいごのせつめいのページを読んでほかの子とまちがえないようにするためだとわかりました。とても大せつなことだなと思いました。

二つ目は、シャチにおそわれたところです。食べられたらおかあさんにあえないししかなかったけど、たすかってあんしんしました。そのあともおよぎだしてアニューはゆう気があつてすごいなと思いました。

もつとしりたいなと思ってタテゴトアザラシについてしらべてみると、赤ちゃんのはん分がしんでしまうことがわかりました。りゆうはおかあさんとはぐれてしまつたり、天てきにおそわれたりすることだとわかりました。人とはぜんぜんちがうからびっくりしました。またちきゅうおんだんかでたくさんの生きものがしんでしまうことがわかりました。はじめてきいたけど、ちきゅうがどんどんあつくなっているそうです。ぼくにできることは、でんきのむだづかいをしないこと、たべものをのこさないことだとわかりました。いきものたちのために、がんばりたいです。

「どんなかんじかなあ」を読んで

寺方南小学校 二年 町 優輔

ぼくには、耳が聞こえないおとうとがいます。ふだんからどんなかんじか気になっていました。きこえないってどんなかんじか考えるためにこの本をえらびました。

この本は、しゅじんこうのヒロくんが目が見えない人や耳が聞こえない人がどんなかんじか考えるお話です。

ぼくもじつさいに考えたり、たいけんをしてみました。

目が見えないってすごいんだなと思いました。なぜなら、目が見えない人だってかいだんやかいものとかも目が見えないけど耳で音を聞いたりしてすごしているからです。

きみちゃんは、おとうさんやおかあさんがいなくなってもだいじょうぶと言っていてふしぎに思いましたが、ぼくはきみちゃんにはともだちがいるからさびしくないからかなと思いました。

耳が聞こえない人もすごいなと思いました。なぜなら、しゅわとか口の形ではんだんできるからです。

ぼくのおとうとも耳が聞こえないけど、すごいです。なぜなら、おふろでは、じんこうないじをつけていなくてもしゅわや口の形で

話をしてぼくとくらししているからです。

この本を読んで、ぼくは、これから、みんなとすこしちがうおともだちと会ったとき、できないことをやってあげたいと思いました。あともし目が見えない人とかに会ったらすぐにたすけたいと思いました。